川越市産業振興ビジョン（令和４年度～令和７年度）
数値目標の進捗状況【令和５年度】

基本目標１　中小企業支援による持続化と就労環境の整備による雇用の安定

⑴　進捗状況及び傾向

項目	基準値※1	実績値	**実績値**	実績値	目標値
進捗状況及び傾向	（R3）	（R4）	**（R5）**	（R6）	（R7）
創業支援件数（件／年）	366	283	**311**※2		390
⇘ 創業支援等事業者における相談件数は前年比で増加したが、全体としては減少している。					
開設事業所数（件／年）	229（H27）	202（R2）	**202（R2）** ※3		265
⇘ 新型コロナの影響がマイナスにもプラスにも働き、結果として減少している。					
川越しごと支援センターでの就職件数／紹介件数（%）	12.2	14.8	**15.6**		17.0
⇗ 紹介件数は減少したが、就職件数は増加しており、結果として割合が増加している。					

※1　川越市産業振興ビジョンでは「現況値」と表記。計画策定時における最新の値を掲載。

※2　（内訳）川越市23件、商工会議所58件、創業支援ルーム44件、創業・ベンチャー支援センター埼玉186件

※3　最新の値である経済センサス活動調査（R3）の値を掲載。

⑵　現状と今後の方向性

【基本施策１　中小企業の経営基盤の強化】

現状は、中小企業事業資金融資による中小企業者の経営の安定や向上、経営相談による資金繰りや開業についての相談対応、事業承継店舗改修等補助金による市内事業者の円滑な事業承継による商業の振興及び事業承継の際の事業者の負担の軽減、創業に関する相談窓口の設置及び創業支援に関するセミナーの開催などを実施している。また、川越商工会議所と市が共同で作成している「経営発達支援計画」に基づき、川越商工会議所が経営発達支援事業を実施するなど、さまざまな形で中小企業に対する支援を行っている。

今後は、創業支援事業については、コエトコやりそなコエドテラスの開設、創業支援事業連携協定の締結などの新たな動きも見られていることから、積極的に取り組んでいく必要がある。その他の事業についても、さらに活用されるような制度の周知や見直しを行いつつ継続して実施するなど、社会経済情勢及び国や県の動向などを注視しながら、中小企業の支援を行う必要がある。

【基本施策２　求職者の支援と就労環境の整備】

現状は、川越しごと支援センターだけでなく、埼玉労働局及び埼玉県等との連携による、職業相談や職業紹介の実施及び就職面接会の開催、対象を絞った就労支援セミナーの開催による職業能力の向上や開発の支援、地元で働きたい市民や学生に対する求人情報等の提供や地元企業との就職面接会の実施などにより求職者の支援を行うとともに、中小企業退職金共済掛金補助事業をはじめとする勤労者の福利厚生の促進、労働法や労働安全衛生に関する知識の普及・啓発に係るセミナー等の開催により、就労環境の整備を行っている。

今後は、川越しごと支援センターが実施する事業の充実を図るとともに、埼玉労働局及び埼玉県等の関係機関との連携により、求職者や勤労者のニーズを踏まえた事業等を行う必要がある。

【基本施策３　多様な働き方の支援】

現状は、労働者協同組合（ワーカーズコレクティブ、ワーカーズコープ）に関する相談や埼玉県及び関連団体との連携によるセミナーの開催による労働者協同組合の設立支援、「川越市キャリア＆ライフサポーター共同宣言」の新設及び企業の登録やワーク・ライフ・バランスセミナーの開催によるワーク・ライフ・バランスの推進などにより、多様な働き方の支援を行っている。

今後は、「川越市キャリア＆ライフサポーター共同宣言」の登録企業を増やすことでワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、それぞれの事業について制度の周知を行いつつ継続して実施するなど、多様な働き方の支援を行う必要がある。

基本目標２　商店街の魅力の向上とにぎわいの創出

⑴　進捗状況及び傾向

項目 進捗状況及び傾向		基準値※1 （R3）	実績値 （R4）	**実績値** **（R5）**	実績値 （R6）	目標値 （R7）
小売業商品販売額 **（百万円／年）**		347,887 （H28）	329,104 （R2）	**329,104** **（R2）** ※2		347,887
↘	新型コロナの影響がマイナスにもプラスにも働き、結果として減少している。					
中心市街地の空き店舗数 **（箇所／年）**		75	73	**82**		60
↘	空き店舗への出店はあるものの新たな空き店舗も生じており、結果として増加している。					

※1　川越市産業振興ビジョンでは「現況値」と表記。計画策定時における最新の値を掲載。

※2　最新の値である経済センサス活動調査（R3）の値を掲載。

⑵　現状と今後の方向性

【基本施策１　商店街と個店の活性化】

現状は、商店街振興促進補助によるイベント実施に係る費用負担の軽減及び商店街の賑わいの創出、共同施設の新設・改修及び街路灯電気料の一部補助による商店街地域の安全・安心な街づくりへの寄与に加え、空き店舗の活用に係る経費や賃借料の補助による新規出店及び空き店舗利活用の促進などに取り組んでいる。

今後は、商店街が主体的に取り組むことができるような共同販売事業等に対する支援、老朽化が進んでいる共同施設の計画的な改修、空き店舗情報の収集に努めることで、効果的かつ効率的な商店街の運営及び個店の活性化を支援していく必要がある。

【基本施策２　魅力ある商店街の形成】

現状は、共同販売促進事業に係る費用負担の軽減による商店街の賑わい及び魅力の創出、ホームページ作成に係る経費の一部補助による商店街のＩＣＴ化に係る費用の負担軽減及びこれに伴う商店街の積極的な情報発信の推進、各商店街が抱えるさまざまな課題に関する各種補助制度の案内などに取り組んでいる。

今後は、商店街の主体的な取組への支援や情報提供、県の支援策に係る積極的な周知及び申請等に係る支援を行うとともに、商店街側の実態や消費者ニーズの把握に努めるなどにより、さらに魅力ある商店街の形成に向けた支援を行っていく必要がある。

【基本施策３　効果的な支援に向けた取組】

現状は、国や県などの各種支援制度について、市が積極的に周知し、申請書類の作成の支援を行うなどにより支援体制の強化を図るとともに、商店街振興促進補助に係る事業等に取り組んでいる。

今後は、こうした情報を分かりやすく伝えられるよう、市ホームページのレイアウト変更やメール、ＳＮＳを有効活用した周知についても検討するとともに、商店街振興促進補助の活用など、国や県などの関係機関とも連携を図りながら、効果的に支援していく必要がある。

基本目標３　企業誘致の推進等による産業競争力の強化

⑴　進捗状況及び傾向

項目 進捗状況及び傾向	基準値※1 （R3）	実績値 （R4）	**実績値** **（R5）**	実績値 （R6）	目標値 （R7）
企業立地支援事業所の累計数（事業所） ⇨ 令和３年度以降、企業立地奨励金の新規申請が無いため、基準値と同じとなっている。	8	8	**8**※2		10
ものづくりブランド認定の累計数（件） ⇨ 令和５年度に新たに２件の認定を行ったが、目標値に対してはほぼ横ばいとなっている。	45	47	**49**※3		70

※1　川越市産業振興ビジョンでは「現況値」と表記。計画策定時における最新の値を掲載。

※2　（内訳）H24：4事業所(3社)、H29：1事業所、H30：1事業所、R1：2事業所、R2～R5：なし

※3　（内訳）H25：12件、H26：7件、H27：7件、H28：5件、H29：5件、H30：4件、R1：2件、R2：1件、
R3：2件、R4：2件、R5:2件

⑵　現状と今後の方向性

【基本施策１　企業誘致の推進】

現状は、市内で事業所の新設または拡張を行う企業に対する「企業立地奨励金」や「雇用促進奨励金」の交付による企業誘致と雇用創出、企業立地ニーズの把握とターゲットの絞り込み、産業用地確保のための次期開発候補エリアの掘り起こしの検討、産業用地に係る情報発信、企業立地に係る相談窓口の一元化及び工業用地、優遇制度、各種手続きなどの必要な情報提供、企業が操業しやすい環境整備を支援するための「川越市工場立地法地域準則条例」を制定するなどにより、企業誘致の推進を図っている。

今後は、奨励金に係る要件等の見直しを図るとともに、「川越市事業用地実態調査等業務委託（令和６年度）」の実施、埼玉県企業立地課から定期的に提供される用地情報や用地情報を持っている不動産業者等との連携の検討などにより、さらなる企業誘致の推進に取り組む必要がある。

【基本施策２　販路開拓・拡大の推進】

現状は、川越ものづくりブランド「KOEDO E-PRO」に係る認定企業の発掘を継続して行い、多くの市内企業の製品・技術を認定しており、認定製品や技術のＰＲ補助を行っている。また、ジェトロ埼玉貿易情報センターとの協働による市内事業者の海外への販路拡大、地域のしごと総合ポータルサイトによる地元企業に係る情報提供なども行っており、市内外への発信力も高まっている。

今後は、川越ものづくりブランド「KOEDO E-PRO」の申請件数が年々減少傾向にあることから、制度の見直しや企業の掘り起こしを行うとともに、認定企業に認定製品等に係るＰＲ補助を活用してもらいやすいよう見直し等を行う必要がある。また、ジェトロ埼玉貿易情報センターとの協働方法の検討や需要の確認を行うとともに、地域のしごと総合ポータルサイトの認知度や活用度を高めるなどにも取り組む必要がある。

【基本施策３　環境の変化に対応する取組への支援】

現状は、ＤＸに係る取組として、埼玉県ＤＸ推進支援ネットワークへ参画しており、参画している関係機関等実施する事業等に関する情報提供を行っている。また、環境経営については、「エコアクション２１認証・登録研修会」を開催して、参加事業者に認証登録を行うなど、川越市独自の取り組みを行っている。

今後は、市独自のＤＸに係る取組について、川越商工会議所などの関係機関との連携を図りながら、検討・実施していくとともに、事業者ごとに抱える課題が大きく異なることから、それぞれの課題に応じて求めている情報を事業者等へ的確に伝える必要がある。また、「エコアクション２１認証・登録研修会」を引き続き開催し、参加事業者数の確保及び認証取得事業者の増加を図ることにより、脱炭素社会の実現に向けて取り組む必要がある。

基本目標４　産業間連携と地域資源の活用等による新たな価値の創造

⑴　進捗状況及び傾向

項目		基準値※1	実績値	**実績値**	実績値	目標値
進捗状況及び傾向		（R3）	（R4）	**（R5）**	（R6）	（R7）
市内総生産額（億円／年）		12,610（H30）	12,705（R2）	**14,651（R3）** ※2		13,008
↗	新型コロナの影響がマイナスにもプラスにも働いており、結果としてやや増加した。					

※1　埼玉県市町村民経済計算の結果を基準値として設定。計画策定時における最新の値を掲載。

※2　最新の値である埼玉県市町村民経済計算（R3）の値を掲載。

⑵　現状と今後の方向性

【基本施策１　産業間連携の推進】

現状は、「おいしい川越農産物提供店」の認定に係る取組として、全ての認定店舗に対するアンケート調査を実施するとともに、川越産農産物ブランド化事業と連携してブランド化、生産・流通の促進などを図っている。川越市産業観光館（小江戸蔵里）では、地域ではぐくまれた農産物等の食材を使用した食の提供や特産品の提供を行っている。異業種交流の促進については、かわごえ産業フェスタへの出展を通じた異業種交流の促進を図っている。かわごえ産業フェスタについては、商業、工業、農業、観光に関わる団体や企業が出展し、さまざまな業種の事業者が交流できる場を提供している。

今後は、「おいしい川越農産物提供店」については、リーフレットやスタンプパスポートなどを活用して更なる制度の周知を図りつつ、認定制度のブラッシュアップや認定を受けたことによるメリットを享受できるよう取り組むとともに、川越産農産物ブランド化事業との連携により、川越産農産物のＰＲにもつなげていく必要がある。川越市産業観光館（小江戸蔵里）については、地産地消の推進を図ることができるイベントの開催などについて、指定管理者との連携により取り組む必要がある。異業種交流については、かわごえ産業フェスタへの出展だけでなく、どのような異業種交流が可能か検討する必要がある。かわごえ産業フェスタについては、開催内容の見直し及び費用の削減など、効果的な開催に向けて検討する必要がある。

【基本施策２　地域資源の活用】

現状は、彩の国工場に指定された市内工場を市ＨＰにて発信しているものの、体験型観光である工場見学等の実施には至っていない。地域資源の発掘・情報発信については、文化創造インキュベーション施設「コエトコ」が新たに整備された。また、川越らしい本物にこだわった魅力ある地域産品を「川越セレクション」として認定し周知することで、川越全体のイメージを高め、地域産品の向上及び普及や新たな地域産品の開発を促している。川越産農産物のブランド化については、イベントへの出展や開催、ポスターの掲示やロゴグッズの配布などにより、周知や啓発に取り組んでいる。

今後は、体験型観光については、工場見学等が実現されるよう工場の掘りおこしや見学会の実施などを行う必要がある。地域資源の発掘については、さまざまな主体からの情報を積極的に収集するとともに、情報発信については、コエトコやりそなコエドテラスなどの新たな資源も活用しながら、地域資源の認知の向上などに取り組む必要がある。川越産農産物のブランド化については、一時的な売上の向上ではなく、継続的な川越産農産物の評価や消費につながるような取り組みとしていく必要がある。

【基本施策３　関係機関との連携】

現状は、各々の施策の推進や事業の実施にあたり、これまで連携してきた関係機関等にとどまらず、新たな相手方との連携を図ることができている。

今後も、さまざまな関係機関との連携を図りつつ、複数の関係機関との連携（例：産学官金連携、農商工連携など）を進めていく必要がある。

【進捗状況及び傾向】

傾向	↗	↗	→	↘
内容	目標値に到達または目標値を超えて進捗	目標値に向かって順調に進捗	基準値と変わらないまたはほぼ横ばいで進捗	基準値より悪化または減少して進捗